

第5回山居倉庫調査委員会 議事録

◎開催日時

令和2年6月25日（木）午前10時00分～午前11時20分

◎会場

酒田市総合文化センター 412 会議室

◎協議事項

（1）調査報告書（案）について

・事務局資料に沿って説明

（委員）第I章調査の経緯のこれまでの動きに載っている内容が文化庁から言われた感じを受ける文章になっている。また、市民の山居倉庫保存への熱意のようなものはあったのか。

（事務局）文化財保護審議委員などでは保存についての議論があった。第I章については委員の意見を基に再度事務局で書き直していく。

（委員）櫓の調査は2回行っている。防風と日陰のために植栽をし、景観のために櫓が保存された。櫓は最低10m間隔で埋めないといけないが、現在は6m。櫓のことをまとめておいたほうが良いのでは。

（事務局）櫓についても事務局として考えをまとめて記載していきたい。

（委員）酒田三十六人衆についての内容があるが、三十六人衆は分かっていないことが多い。歴史的なことを書ききっているが、断定してよいものか。

（事務局）執筆者と相談の上、もう一度内容を見直していく。

（委員）これまでの動きに人の名前が載っているが、変更などはできるか。

（事務局）変更ある場合は調整をするので、相談をさせてほしい。

（委員）細かいところだが、194ページが調査調査になっている。委託した先生の肩書も追加しては。

（事務局）変更する。

（委員）図は最初に入れてほしい。変遷図に番号が入っていないので読みにくい。

（事務局）敷地図を最初に入れるなど修正する。

（委員）山居倉庫の標高はどのくらいか。

（事務局）4mくらい。

（委員）方向としてはこれでよい。今回出た意見を報告書にまとめていただきたい。

(2) 意見具申書(案)について

・事務局資料に沿って説明

(委員) 指定範囲は調整済か。

(事務局) コロナの影響のためにメール等で調整中。来月 16 日に行われるヒアリングで決定される。

(委員) これからの国との相談で内容は変わるのか。

(事務局) 調査官との相談・調整で意見具申書の内容が変わるものもある。

(委員) 7 ページの保存の経緯に、これまでの動きの文章が誰々と会った程度になっているので、そこで何が決まったのかをまとめたほうが良い。保存樹や樺のことも書いたほうがよいのでは。

(事務局) これから書いていく。

(委員) 近世、近代はまとめられているが、酒田湊は中世から発展してきているのでこの辺りも 1 行程度あるとよい。

(事務局) 中世も入れていく。

(委員) 具申書の「現在までの調査結果と文化財の価値」の 4 行目に米券(米札)とあるが、米札(べいさつ)とは何か。

(事務局) 調べなおす。

(委員) 方向としてはこれでよい。今回出た意見を意見具申書にまとめていただきたい。

(3) その他

(委員) 今後の進捗はどうなっているか。

(事務局) 7 月 16 日に国のヒアリングがあり、そのヒアリングの結果を基に意見具申書を文化庁へ提出。文部科学大臣が文化審議会に諮問、答申となり、官報掲載で正式に指定となる。

(委員) 保存活用計画はあるか。

(事務局) 令和 3・4 年度の 2 か年で策定する予定。

以上